



お元気ですか！  
志村 たかよし です

第873号 2018年1月21日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

## 小中学校の入学準備金

# 「入学前支給」実施へ動く

入学準備金の支給が6、7月とは

新しい年を迎え、今春入学されるお子さんがいらつしやるご家庭では、ふくらむ期待とともに、財政的な不安をお持ちの方もいらつしやるのではないのでしょうか。

経済的に苦しい家庭の子どもさんが、安心して小中学校に通うための支援として「就学援助制度」があり、「入学準備金」も支給されています。

ところが、中央区での支給は、入学時期が過ぎた6月、7月となっているのです。

日本共産党中央区議団は、「入学準備金」を入学前の必要な時期に支給するよう、くりかえし議会でもりあげてきました。



16年の本会議で実施を求めました

私は、16年9月20日の本会議で、板橋区、世田谷区で「中学一年生の入学準備金」が、小学6年生の3月時点で前倒し支給されていることや、八王子市では「小学一年生の入学準備金」が3月に支給されていることを紹介し、中央区でも入学前に支給することを求めました。

教育長は「入学準備の費用は一時的にかさむ」との認識を示しましたが、入学前の支給については「さまざまな課題があり、直ちに実施することは困難」と答弁しました。

私は「子供たちのために、先進的な経験に学んでぜひ実施を」と要求しました。

17年の委員会で実施を求めました

昨年2月14日の区民文教委員会でも、私は入学前支給の実施を検討している区が、9区になったこと紹介し、中央区での実施を求めました。



区は「支給方法を見直すためには実際の所得をつかむシステムの改修が必要」とこれまでの姿勢を示しつつも「中学校の入学準備金については取り組んでいる区がある。研究したい」と答弁しました。

私は「生活しづらい状況や生活困窮家庭が増えている。子供たちのことを優先して考えて、教育委員会は力を発揮してほしい」と強く要望しました。

やっと「入学前支給」実施へ

11月20日の委員会で、奥村あきこ議員が確認したところ、「秋頃に新しいシステムの構築を行い、19年度の入学準備に間に合わせるよう18年度中に通知を発送したい」と答えました。

遅かったですが、粘り強い働きかけが実りそうです。

(表5)

### 市街地再開発事業地区への税金投入額

事業地区	(補助金額)	総事業費	敷地面積 (㎡)
[1] 勝どき一丁目地区《勝どきサンスクエア》	(約20億円)	約145億円	1.0
[2] 箱崎地区《日本橋箱崎シティハイツ・日本橋箱崎ビル》	(約13億円)	約187億円	0.4
[3] 晴海一丁目東地区《晴海トリトン》	(約224億円)	約1964億円	4.8
[4] 晴海一丁目西地区《晴海トリトン》	(約141億円)	約1613億円	5.2
[5] 月島駅前地区《月島ムーンアイランドタワー》	(約60億円)	約246億円	0.9
[6] 日本橋浜町三丁目西部地区《トルナーレ日本橋浜町》	(約90億円)	約407億円	1.8
[7] 日本橋人形町一丁目地区《リガーレ日本橋人形町》	(約36億円)	約159億円	0.6
[8] 晴海三丁目西地区《スカイリンクタワー・ドウトゥール・ベイサイドタワー晴海》	(約105億円)	約1207億円	3.2
[9] 勝どき六丁目地区《トーキョータワーズ》	(約78億円)	約783億円	4.3
[10] 勝どき駅前地区《勝どきビュータワー》	(約78億円)	約360億円	1.7
[11] 新川二丁目地区《エスタワー》	(約17億円)	約50億円	0.2
[12] 湊二丁目東地区《パークシティ中央湊》	(約76億円)	約245億円	1.2
[13] 月島一丁目3, 4, 5番地区《キャピタルゲートプレイス》	(約100億円)	約370億円	0.6
[14] 京橋二丁目西地区《明治屋ビル・エドグラン》	(約70億円)	約668億円	1.0
[15] 勝どき五丁目地区《勝どきザ・タワー》	(約83億円)	約695億円	1.9
[16] 銀座六丁目10地区《ギンザ・シックス》	(約71億円)	約861億円	1.4
[17] 日本橋二丁目地区《日本橋高島屋 周辺》	(約156億円)	約1610億円	2.6
[18] 月島一丁目西仲通り地区《月島一丁目22～24番》	(約95億円)	約296億円	0.6
[19] 日本橋室町三丁目地区《日本橋室町三丁目 1番他》	(約94億円)	約1349億円	1.3
[20] 勝どき東地区《勝どき二丁目18番・四丁目5～7・14》	(約360億円)	約1655億円	2.8
[21] 東京駅前八重洲一丁目東地区	(未定)		1.2
[22] 八重洲二丁目北地区《城東小学校 周辺》	(約120億円)	約2398億円	1.4
[23] 晴海五丁目西地区《選手村跡地》	(0円)	約540億円	13.4
[24] 豊海地区《東卸住宅》	(未定)		1.6
[25] 八重洲二丁目中地区《八重洲ブックセンター 周辺》	(未定)		2.0

(2017年6月現在)

検証  
中央区のまちづくり  
連載4

## 市街地再開発の間④ 「21事業に2087億円」

(表5)は、市街地再開発事業ごとの「補助金・総事業費・敷地面積」を一覧表にしたもので、該当する建物の名称も載せました。

### 中央区の4%の面積に

### 予算3年分の税金投入

(表5)にある25事業のうち、補助金額(税金投入額)が示されている事業は、21あります。

21の補助金額の合計は2087億円で、敷地面積の合計は38・9畝です。

中央区の面積はおよそ千畝ですから、わずか4%の土地に、区の予算の約3年分に匹敵する税金が投入されることとなります。

「晴海五丁目西地区(選手村跡地)」への補助金は0円ですが、補助金と異なる「東京都による数々の大サービス」が行われています。その「大サーbis」については、後日、ご紹介します。

(つづく)

